

科目名	基礎看護学実習Ⅰ対象理解	単位	1	時間	45	講師名	教員・実習指導者
開講時期	1年生 2学期						
実習目的	入院している対象の生活および環境を理解し、対象とのケアリング的關係性のありようを理解する。						
教育内容	<Ⅰ-①> 1. 入院している対象を取り巻く生活環境が理解できる 2. 対象の生活環境が日常生活に及ぼす影響が理解できる 3. 看護師としての責任を自覚して行動できる <Ⅰ-②> 1. 入院している対象の生活環境が理解できる 2. 対象の生活環境が日常生活に及ぼす影響が理解できる 3. 入院している対象の思いが理解できる 4. 日常生活援助(食事・排泄・清潔・活動休息)を通して対象の反応を理解できる 5. 対象とのケアリング的關係性が理解できる 6. 看護師としての責任を自覚して行動できる						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						

科目名	基礎看護学実習Ⅱ看護過程	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	2年生 2学期						
実習目的	看護過程の実際を理解し、対象に応じた看護を実践する。						
	1. 健康障害のある対象が理解できる 2. 対象に応じた看護目標を設定し、看護計画が立案できる 3. 立案した計画に基づいて、その時の対象の状況に合わせた援助の実施ができる 4. 実施した援助を評価し、看護計画の修正ができる 5. 保健医療福祉チームの重要性が理解できる						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						

科目名	地域・在宅看護論実習	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生						
実習目的	地域で生活する人とその家族を通して多職種と協働して、その人らしい生活を実現するための看護を実践する能力を身につける						
実習目標	<訪問看護ステーション実習> 1. 地域で生活する対象が理解できる 2. 地域で暮らす療養者とその家族に対する看護について理解できる 3. 指導者とともに対象に適した看護が実践できる						
	<リハビリ室実習> 1. 地域で生活する対象を取り巻く保健医療福祉チームにおける看護師及び他職種の機能と役割が理解できる						
	<外来実習> 1. 地域で生活する対象を取り巻く保健医療福祉チームにおける看護師及び他職種の機能と役割が理解できる						
	<学内実習> 1. 地域における多職種連携が理解できる						
評価方法	看護実践・実習記録・態度・レポート・出席状況						

科目名	成人・老年看護学実習Ⅰ回復期	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	2年生 2学期						
実習目的	回復期にある成人期・老年期の対象を理解し、回復促進や自立に向けた看護が実施できる。						
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 回復期にある成人期・老年期の対象を理解することができる。</li> <li>2. 回復期にある成人期・老年期の対象が障害を持ちながら自立できるよう看護目標を設定し、看護計画を立案することができる。</li> <li>3. 回復期にある成人期・老年期の対象のその時の状況に合わせた援助が実施できる。</li> <li>4. 実施した援助を評価し看護計画の修正ができる。</li> <li>5. チーム医療に参加し、保健医療福祉チームの中の看護師の役割が理解できる。</li> </ol>						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						

科目名	成人・老年看護学実習Ⅱ退院支援	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	2年生 2学期						
実習目的	慢性期にある成人期・老年期の対象を理解し、加齢や健康障害のある対象のその人らしさを大切にされた看護が実践できる。						
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 慢性期にある成人期・老年期の対象を理解することができる。</li> <li>2. 加齢や健康障害による症状に応じた看護目標を設定し、看護計画を立案できる。</li> <li>3. 慢性期にある成人期・老年期の対象のその時の状況に合わせた援助が実施できる。</li> <li>4. 実施した援助を評価し、看護計画の修正ができる。</li> <li>5. チーム医療に参加し、保健医療福祉チームの中の看護師の役割が理解できる。</li> </ol>						
評価方法	看護実践・実習記録・態度・出席状況						

科目名	成人・老年看護学実習Ⅲ周手術期	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生						
実習目的	周手術期にある成人期・老年期の対象を理解し、手術前・中・後の状況に応じた看護が実施できる。						
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 周手術期にある成人期・老年期の対象を理解することができる。</li> <li>2. 周手術期にある成人期・老年期の対象の生命の危機的状態を予測し、異常の早期発見、予防する看護目標を設定し、看護計画を立案することができる。</li> <li>3. 周手術期にある成人期・老年期の対象のその時の状況に合わせた援助が実施できる。</li> <li>4. 実施した援助を評価し看護計画の修正ができる。</li> <li>5. 保健医療福祉チームの一員としての役割を理解することができる。</li> </ol>						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						

科目名	成人・老年看護学実習Ⅳ慢性期	単位	1	時間	45	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生						
実習目的	慢性期にある成人期・老年期の対象を理解し、症状に合わせた生活を送るための看護が実施できる。						
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 慢性期にある成人期・老年期の対象を理解することができる。</li> <li>2. 慢性期にある成人期・老年期の対象のQOL維持を目指した看護目標を設定し、看護計画を立案することができる。</li> <li>3. 慢性期にある成人期・老年期の対象のその時の状況に合わせた援助が実施できる。</li> <li>4. 実施した援助を評価し看護計画の修正ができる。</li> <li>5. チーム医療に参加し、保健医療福祉チームの中の看護師の役割が理解できる。</li> </ol>						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						

科目名	成人・老年看護学実習Ⅴ終末期	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生						
実習目的	終末期にある成人期・老年期の対象を理解し、対象の心・肉体・魂に及ぼす苦痛を緩和し、対象のQOLを高めるための看護が実施できる。						
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 終末期にある成人期・老年期の対象を理解することができる。</li> <li>2. 終末期にある成人期・老年期の対象の苦痛が心・肉体・魂に及ぼす影響を理解し、その苦痛を緩和するための看護目標を設定し、看護計画を立案することができる。</li> <li>3. 終末期にある成人期・老年期の対象のその時の状況に合わせた援助が実施できる。</li> <li>4. 実施した援助を評価し看護計画の修正ができる。</li> <li>5. チーム医療に参加し、保健医療福祉チームの中での看護師の役割が理解できる。</li> <li>6. 終末期にある対象の看護を通して、自己の死生観を深めることができる。</li> </ol>						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						

科目名	老年看護学実習 生活支援	単位	1	時間	45	講師名	教員・実習指導者
開講時期	2年生 2学期						
実習目的	老年期にある対象を理解し、セルフケア能力に応じた生活の支援ができる。						
実習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老年期にある対象が理解できる。</li> <li>2. 老年期にある対象のセルフケア能力をアセスメントし、日常生活援助の必要性が理解できる。</li> <li>3. 老年期にある対象のその時の状況に合わせた援助が実施できる。</li> <li>4. 実施されている援助について評価できる。</li> <li>5. 保健医療福祉チームの中の看護師の役割が理解できる。</li> </ol>						
評価方法	看護実践・実習記録・態度・レポート・出席状況						

科目名	小児看護学実習	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生						
実習目的	小児各期の対象とその家族を理解し、対象の健康保持増進と成長・発達を促進するための看護が実践できる。						
実習目標	<重症心身障害児(者)病棟実習> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 健康障害を持つ子どもの特徴が理解できる。</li> <li>2. 子どもの健康障害と成長発達、家族の状況に応じた看護目標を設定し、看護計画を立案できる。</li> <li>3. 立案した看護計画に基づいてその時の子どもの成長発達と障害に合わせた援助が実施できる。</li> <li>4. 実施した援助を評価し、看護計画の修正ができる。</li> <li>5. チーム医療に参加し、保健医療福祉チームの中の看護師の役割が理解できる。</li> </ol>						
	<児童センター実習> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児期・学童期の成長発達の状況が理解できる。</li> <li>2. 小児期にある対象の成長発達に応じた支援について述べられる。</li> </ol>						
	<保育所実習> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳幼児各期の成長発達の状況が理解できる。</li> <li>2. 小児期にある対象の成長発達に応じた支援について述べられる。</li> </ol>						
	<小児外来実習> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外来に通院する小児の特徴が理解できる。</li> <li>2. 小児外来の看護が理解できる。</li> </ol>						
	<学内実習> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 治療処置・検査を受ける小児と家族の看護が理解できる</li> </ol>						
評価方法	看護実践・実習記録・態度・レポート・出席状況						

科目名	母性看護学実習	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生						
実習目的	女性のライフサイクルにある対象と家族を理解し、健康な経過を保持増進するための看護を実践する能力を養う						
実習目標	<病棟実習> 1. 妊娠・産褥期にある対象と新生児期にある対象の理解ができる。 2. 妊娠期にある対象の経過に応じた看護が理解できる 3. 産褥期にある対象と新生児期にある対象の経過に応じた看護が理解できる 4. チーム医療に参加し、保健医療福祉チームの中の看護師の役割が理解できる						
	<学内実習> 1. 女性のライフサイクルにある対象が理解できる 2. 妊娠期、産褥期にある対象と新生児期にある対象が理解できる						
評価方法	看護実践、看護記録、態度、出席状況						

科目名	精神看護学実習	単位	2	時間	90	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生						
実習目的	精神看護を必要とする対象との関わりの中で自己を見つめ、治療的人間関係形成のプロセスを通して対象の生活の支援が実施できる。						
実習目標	1. 精神障害をもつ対象を理解することができる。 2. 精神障害をもつ対象に応じた看護目標を設定し、看護計画を立案することができる。 3. 立案した計画に基づいて、その時の対象の状況に合わせた援助の実施ができる。 4. 実施した援助を評価し看護計画の修正ができる。 5. チーム医療に参加し、保健医療福祉チームの中での看護師の役割が理解できる。						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						

科目名	看護総合実習	単位	3	時間	135	講師名	教員・実習指導者
開講時期	3年生後期						
実習目的	専門分野の知識、技術を統合して実務に即した実践ができる。						
実習目標	1. 看護サービス提供の仕組み及びチームメンバーとしての役割と責任について理解できる。 2. 医療現場の安全管理システムの実際について理解できる。 3. 夜間に行われる看護の実際を理解できる。 4. 複数の患者を受け持ち、優先度を考慮して必要な援助が実施できる。						
評価方法	看護実践、実習記録、態度、出席状況						